

県内学校ミニ・ニュース（野田市立関宿小学校）

チーバくんの鼻の位置にある、千葉県で最北にある小学校です。利根川と江戸川に挟まれた、緑豊かな場所に位置します。開校145年を迎える伝統ある学校です。全校児童135名という小規模校ですが、地域の方々、関宿中学校との連携を通して、特色のある教育実践を行っています。学区は、終戦時の総理大臣鈴木貫太郎氏の故郷であり、校内には鈴木貫太郎氏からいただいた柱時計。孝夫人から贈られた書が飾られています。柱時計は82年経った今も、児童と共に時を刻んでいます。

地域・関宿中学校と共に歩む教育活動

本校と関宿中学校は歩いて3分位の所に位置しています。1小1中の関係で、小学校に入学すると、中学校を卒業するまで、同じ仲間と9年間過ごします。このような環境の中、小中連携9ヶ年をかけて、児童生徒を育てることはできないかと考え、様々な連携を行っています。

（1）小中合同運動会（今年度で18回目）

小学校を会場として実施しています。係も小中の児童生徒が一緒に行き、種目も小中合同で行うものもあります。小中学生が力を合わせて行う応援合戦。中学生は小学生の憧れとなり、小学生もいつしか立派な中学生に成長していきます。安全対策として小中集団下校も年2回合同で行っています。

（2）交換授業

お互いの学校の児童生徒理解、中1ギャップを少しでも埋めようと交換授業を一部行っています。小学校教員が中学校で家庭科、中学校教員が小学校で英語の学習を教えています。他にもお互いに授業参観をし一人一人を理解するようにしています。部活動での交換指導も実施しています。お互いの学校の現状を知ることが連携で大切なことと考えます。校内研修も年に数回合同で行っています。

（3）地域の力

「あおいそら運動推進委員会関宿支部」「関宿水環境保全会」「関宿中学校地域支援本部」「図書室環境ボランティア」「読み聞かせボランティア」等多くの皆様のお力をいただいております。広大な田での田植え、稲刈り体験。水路に仕掛けをしての生き物調査。ほたるの放流。そばの種をまき、そのそばを活用してのそば打ち体験など、この地域ならではの体験ができます。児童は自然と共存しながら過ごしています。



小中合同運動会



中学校教員による英語授業



地域の方との田植え

主体的に取り組む児童の育成（生活科・総合的な学習を中心に）

総合的な学習は、中学年で「安全・防犯」。高学年では「食」を中心に行っています。中学年は関宿防衛隊を組織して、校内・外の安全に目を向け活動をしています。高学年は畑で多くの野菜を作りながら、日本独自の文化、発酵、醸造、加工などを学んでいます。フードロスについても視野を広げ、食べ物の大切さ、対策についても学んでいます。